



2025年3月期 決算説明資料

2025年5月15日

証券コード:5356(東証スタンダード・名証メイン)



Contents

01 会社概要

02 2025年3月期 決算報告

03 2026年3月期 業績予想

MISSION

セラミックスを源流に、独自・多様な技術を磨き、社会の発展に貢献する。
一味違う強い特徴を持つ、質の高い企業グループを目指す。

社名	美濃窯業(みのようぎょう)株式会社
設立	1918(大正7)年 8月14日
資本金	8億7,700万円
社長	太田 滋俊
従業員数	連結337名 単体269名(2025年3月末)

美濃窯業 グループ 事業内容	耐火物 セラミックス事業	
	プラント事業	
	建材及び 舗装用材事業	

所在地

本社: 岐阜県瑞浪市寺河戸町719
本社事務所: 愛知県名古屋市中村区名駅南1-17-28

- 瑞浪工場
- 山岡工場
- 九州営業所
- 東京営業所
- 岩佐機械工業株式会社 (本社)
- 名古屋営業所
- 亀崎工場
- 技術研究所
- 美州興産株式会社 (本社)
- 四日市工場



2025年3月期 決算報告



売上高

150.5億円

前年同期比 +6.3%

営業利益

15.7億円

前年同期比 +16.6%

親会社株主に帰属する 当期純利益

12.1億円

前年同期比 +15.4%



外部環境

内部環境

- 耐火物事業は需要が低迷する中、新規取引先の開拓、生産性向上により前年度を上回る
- 半導体関連需要の回復に伴い顧客の設備投資が増加し、前年度を上回る
- 建材及び舗装用材事業では各種製品の価格改定等により前年度を上回る
- 設備改善や生産性の向上への取り組みの継続
- 「健康経営優良法人2025」及び「あいち女性輝きカンパニー」の認定・認証取得
- 環境に配慮した事業活動の推進
 - 環境省「SHIFT事業」補助金を活用したLNGへの燃料転換(亀崎工場)
 - リサイクル原料を活用した当社れんが「TAC-5CE」がエコマークを取得
 - 経済産業省による事業者クラス分け評価制度で6年連続Sクラス評価を獲得(省エネ法)

- ✓ 耐火物事業は、需要が低迷する中、新規取引先の拡大、生産性の向上により増収増益
- ✓ プラント事業は、工事部門が堅調に推移、顧客の設備投資増加により設備部門も好調
- ✓ 建材及び舗装用材事業は、価格改定並びに顧客設備投資増加により増収増益

(百万円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期		前年同期比 (増減額)
		実績	売上比	
売上高	14,159	15,058	—	+6.3% (+899)
営業利益	1,352	1,576	10.5%	+16.6% (+224)
経常利益	1,469	1,680	11.1%	+14.3% (+211)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,054	1,217	8.1%	+15.4% (+163)
1株当たり当期純利益	102.87円	118.73円	—	+15.86円

◆ 連結営業利益の増減分析

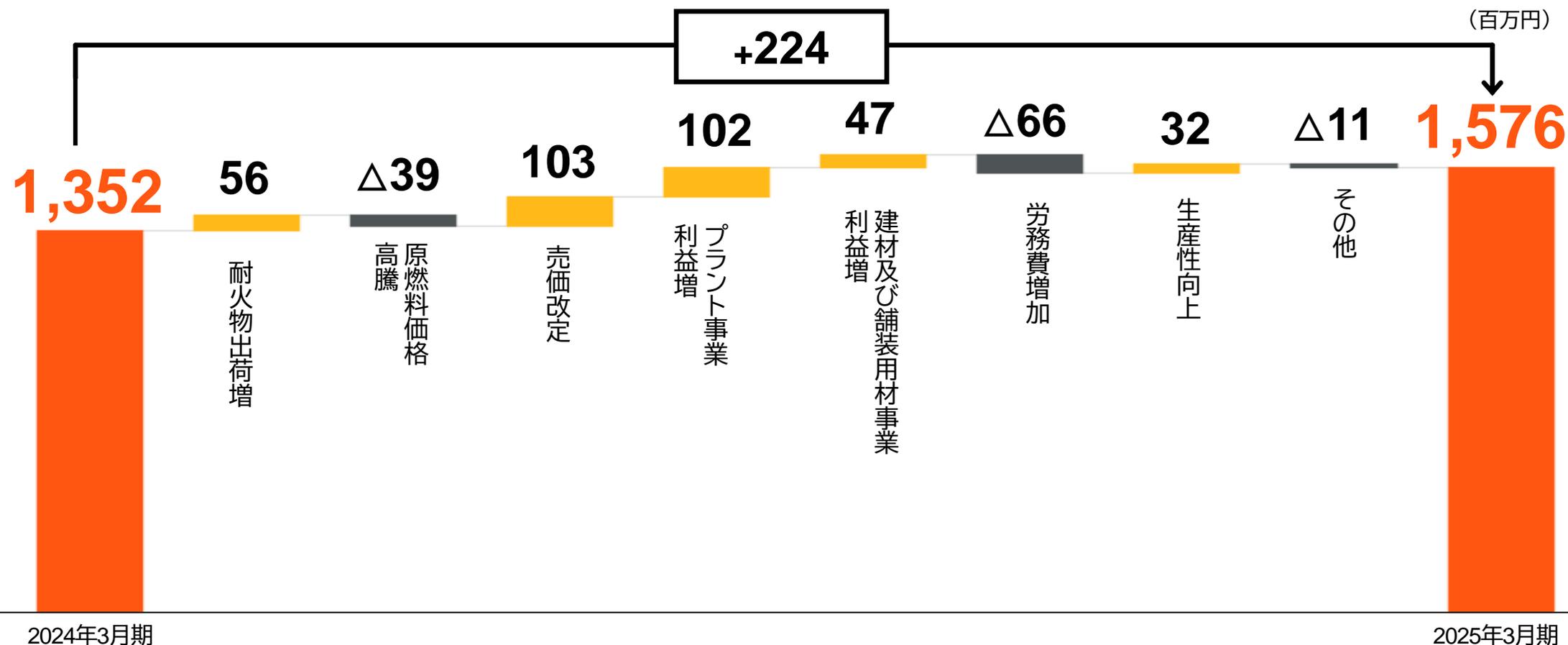
2025年3月期



耐火物事業は原燃料価格が高騰したものの、売価改定を推進したことにより増益

プラント事業は顧客の設備投資意欲が旺盛であったことから増益

建材及び舗装用材事業は、価格改定等により増益となった結果、全体では前年同期比で+224と増益



◆ 連結決算 セグメント別

2025年3月期



耐火物事業は、需要が低迷する中、市場シェアの拡大、生産性の向上により増収増益

プラント事業は工事部門が順調に推移、設備部門においても半導体関連需要の回復により増収増益

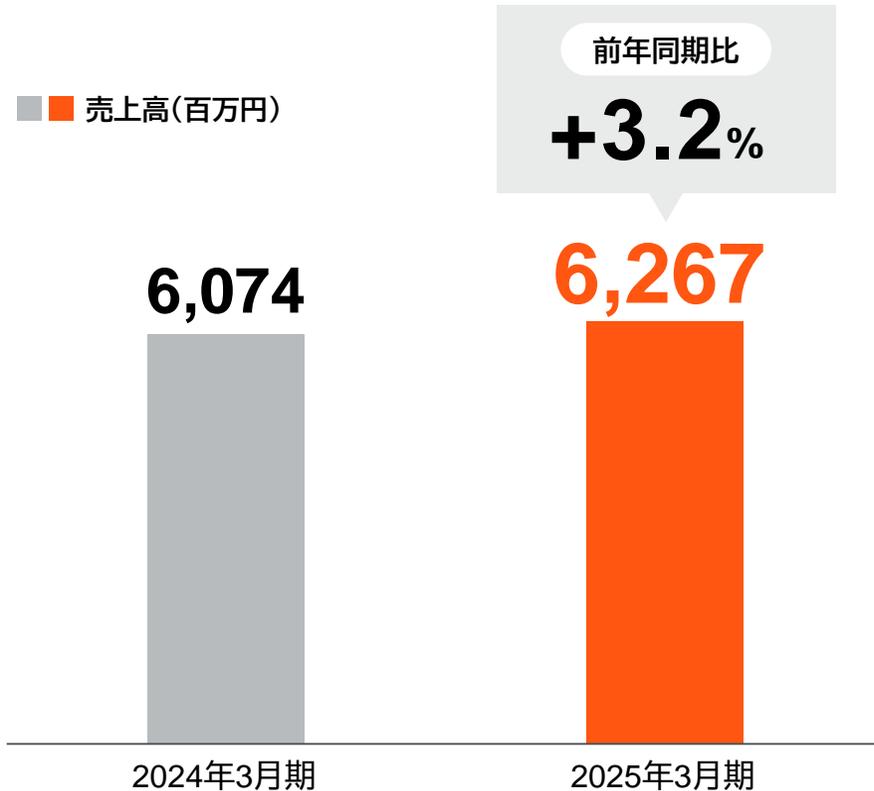
建材及び舗装用材事業は、価格改定や生産性の改善により増収増益

(百万円)

		2024年3月期	2025年3月期	前年同期比	
耐火物	売上高	6,074	6,267	+192	(+3.2%)
	セグメント利益	250	343	+92	(+37.1%)
プラント	売上高	5,068	5,696	+627	(+12.4%)
	セグメント利益	706	825	+118	(+16.7%)
建材及び舗装用材	売上高	2,517	2,554	+37	(+1.5%)
	セグメント利益	190	214	+24	(+12.8%)
不動産賃貸	売上高	380	396	+16	(+4.3%)
	セグメント利益	177	195	+17	(+9.8%)
その他	売上高	118	143	+24	(+20.6%)
	セグメント利益	24	28	+3	(+15.4%)
調整額	セグメント利益	2	△30	△32	-
合計	売上高	14,159	15,058	+899	(+6.3%)
	営業利益	1,352	1,576	+224	(+16.6%)

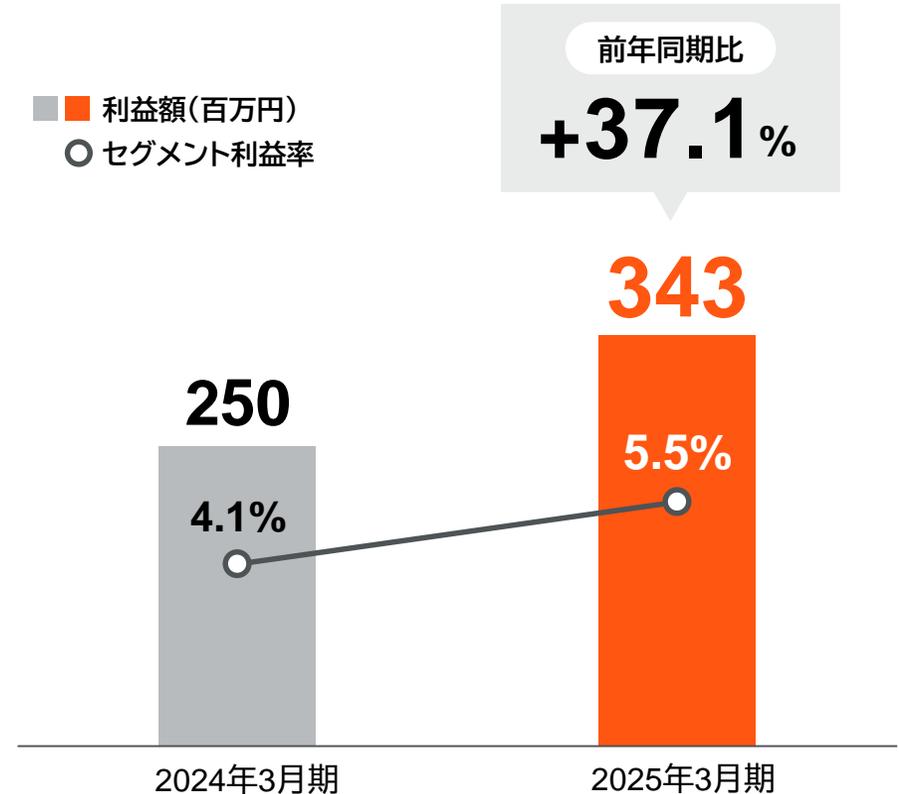
売上高

耐火物需要は低迷するも、価格改定、市場シェアの拡大、生産性の向上により増収



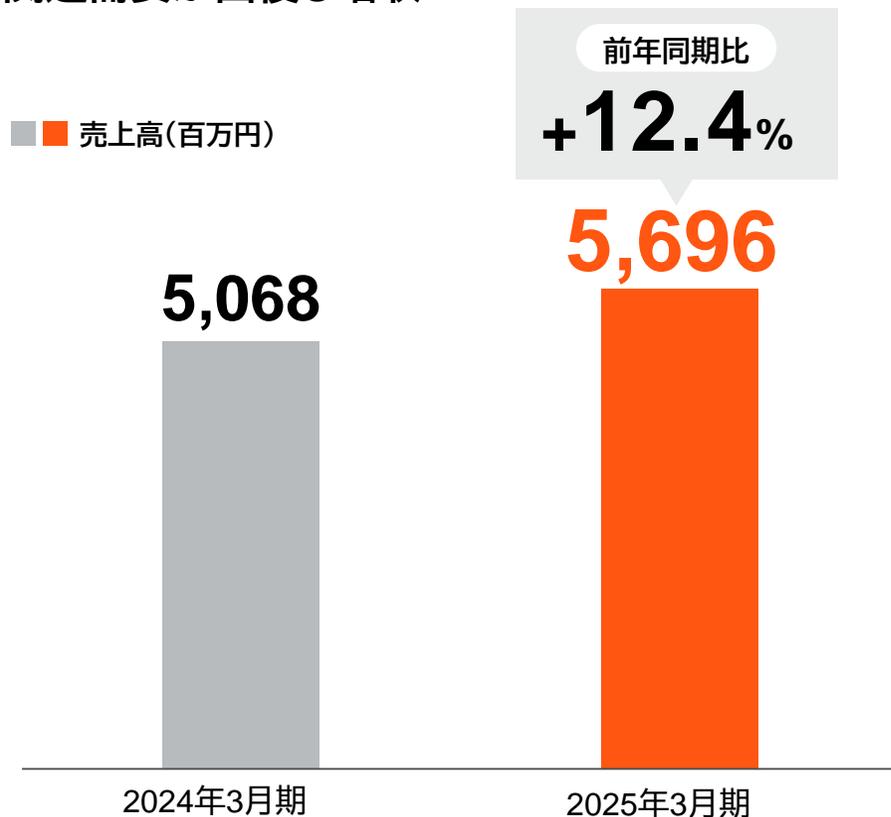
セグメント利益

販売価格改定効果に加え、市場シェアの拡大及び生産性の向上により大幅増益



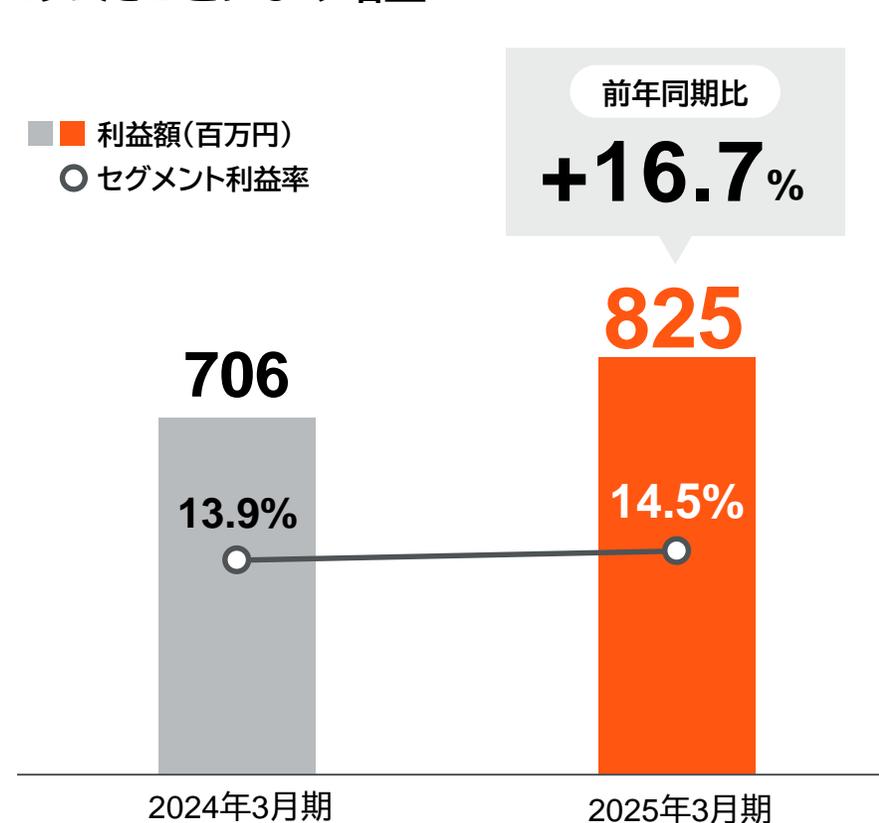
売上高

工事部門が順調に推移し、設備部門も半導体関連需要が回復し増収



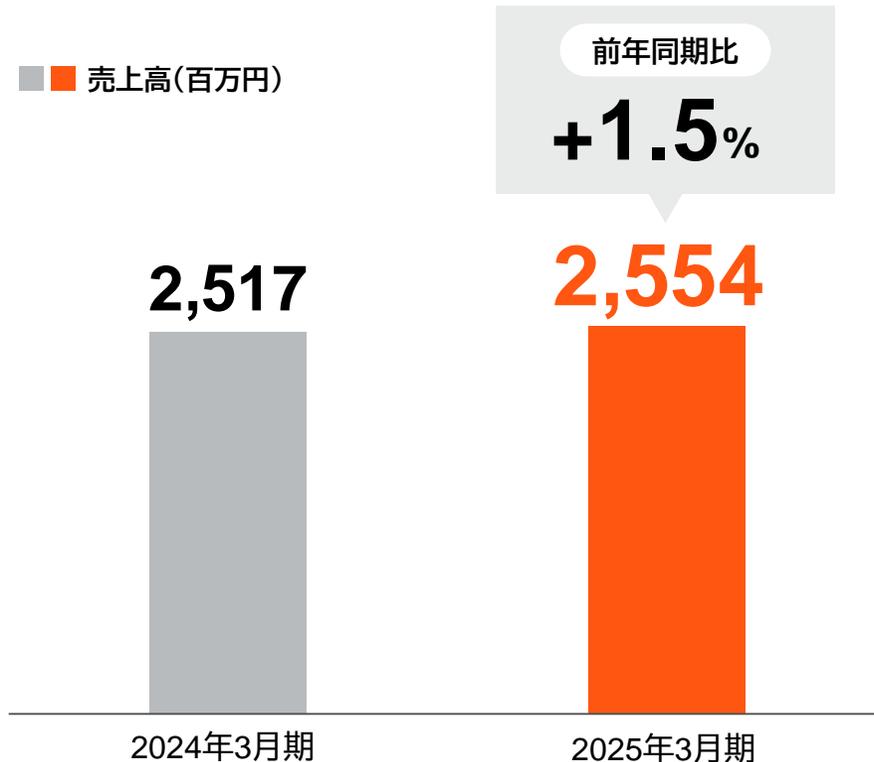
セグメント利益

半導体関連需要回復に伴い、設備投資が好調であったことにより増益



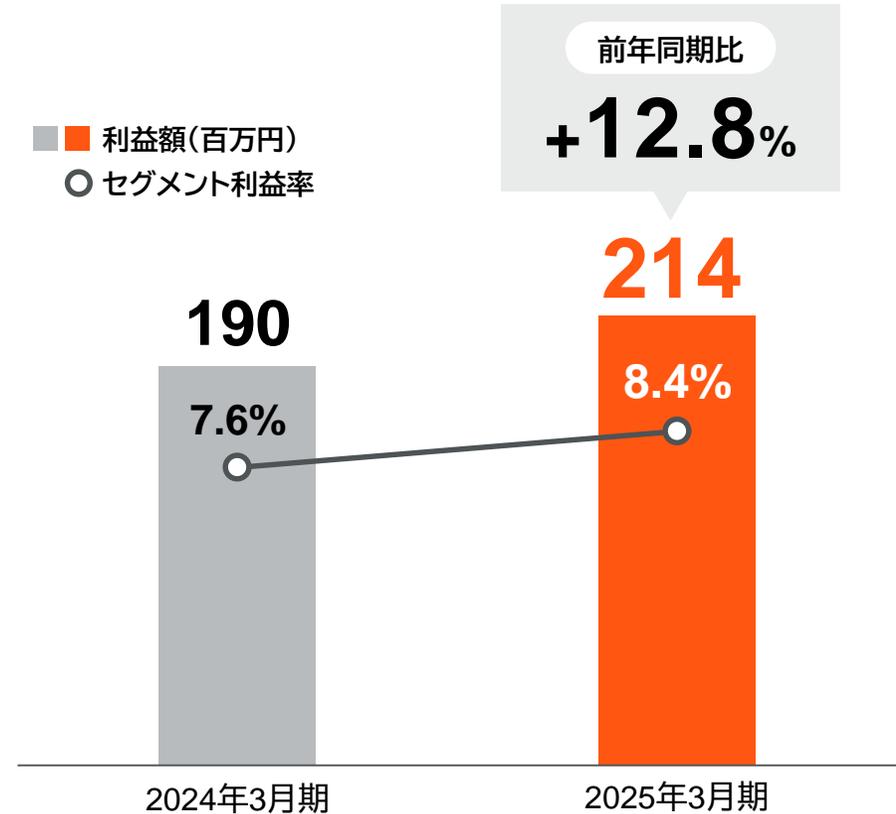
売上高

主力のカラー骨材の市場が縮小する中、価格改定を行ったことにより微増収



セグメント利益

生産性の改善及び各種製品の価格改定等により増益



◆ 連結貸借対照表

- ✓ 利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加等により、自己資本比率は68.0%に上昇
- ✓ 健全な財務基盤を維持

(百万円)

	2024年3月末	2025年3月末	増減額	
流動資産	12,394	12,939	+544	<ul style="list-style-type: none"> 契約資産 +404 有価証券 Δ200 棚卸資産 +384
固定資産	7,989	8,396	+406	<ul style="list-style-type: none"> 建物及び構築物(純額) +131 投資有価証券 +218
資産合計	20,384	21,336	+951	
流動負債	5,244	5,174	Δ 69	<ul style="list-style-type: none"> 役員株式給付引当金 +21 退職給付に係る負債 +49
固定負債	1,547	1,654	+106	
純資産	13,592	14,507	+915	<ul style="list-style-type: none"> 利益剰余金 +855 その他有価証券評価差額金 +61
負債・純資産合計	20,384	21,336	+951	
自己資本比率	66.7%	68.0%	+1.3pt	<p style="text-align: center;">参考(2025年3月末時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 有利子負債残高 1,470 D/Eレシオ 0.10倍

◆ 連結キャッシュ・フロー

- ✓ 売上債権の増加等により、現金及び同等物は4,153百万円へ増加
- ✓ キャッシュを確保しつつ、中長期的成長を見据えた投資や株主還元を強化

(百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比	
営業活動による キャッシュ・フロー	1,891	1,204	△687	契約資産の増加等
投資活動による キャッシュ・フロー	△160	△513	△352	有形固定資産の取得等
フリー・キャッシュ・フロー	1,731	690	△1,040	
財務活動による キャッシュ・フロー	△458	△419	+38	社債の償還による支出や配当金の 支払等
現金及び現金同等物	3,882	4,153	+271	



2026年3月期 業績予想



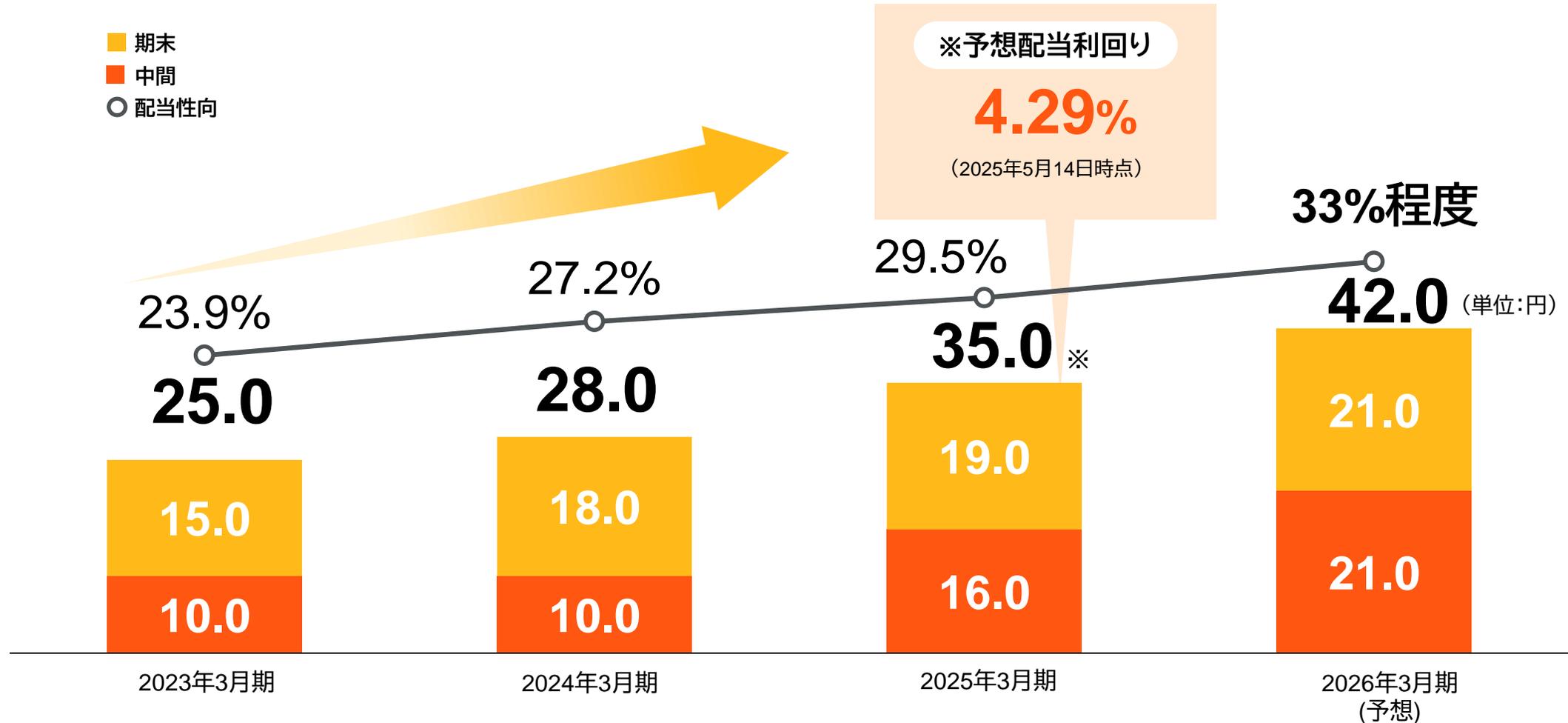
- 高成長・高収益が期待されるセラミックス事業への経営資源の投下により拡大を図る
- 新市場、新製品、新規事業の開発による売上拡大を目指す

(百万円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期		前年同期比 (増減額)
		予想	売上比	
売上高	15,058	16,000	—	+6.3% (+942)
営業利益	1,576	1,750	10.9%	+11.0% (+174)
経常利益	1,680	1,850	11.6%	+10.1% (+170)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,217	1,300	8.1%	+6.8% (+83)
1株当たり配当金	35.0円	42.0円	—	+20.0% (+7.0)

◆ 株主還元方針

事業成長に必要な内部留保を確保したうえで、新中期経営計画最終年度の配当性向40%程度を目指す



本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。